
市川町農業景況調査

2020年通期

市川町商工会

目 次

<u>I. 調査要領</u>	1
<u>1. 調査目的</u>	1
<u>2. 管内調査</u>	1
<u>II. 管内調査結果</u>	2
<u>1. 業況</u>	2
<u>2. 採算の状況</u>	4
<u>3. 資金繰りの状況</u>	6
<u>4. 人材の状況</u>	7
<u>5. 設備投資の実施状況</u>	8
<u>6. 今後の経営方針</u>	10

1. 調査要領

1. 調査目的

管内の農業者の景気動向について、その実態を把握すると共に、全国の情勢との違いを把握する。

(全国の情勢は、日本政策金融公庫「農業景況調査」の調査結果を参照した。)

2. 管内調査

市川町商工会管轄内の農業者を対象に、アンケート調査を実施した。

(1) 対象農業者数…5者

(2) 調査方法…商工会の職員による訪問面接調査

(3) 調査対象期間…2020年1月から12月末の年間を対象とした。

※指標について

本報告書のD Iとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目において増加・上昇・好転とした事業者割合から、減少・低下・悪化とした企業割合を引いたものである。

II. 管内調査結果

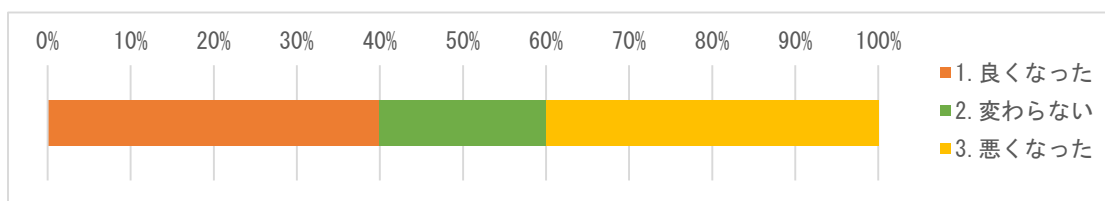
1. 業況

(1) 業況D I (2020年通期)

2020年通期の業況が「良くなった」と回答したのは2者、「悪くなった」と回答したのは2者であり、D Iはゼロであった。
全国のD Iは▲24.9であった。

図表1. 業況D I (2020年上半期)

農業者数				構成比			市川町	全国
1.良くなった	2.変わらない	3.悪くなった	合計	1.良くなった	2.変わらない	3.悪くなった	DI	DI
2	1	2	5	40.0	20.0	40.0	0.0	▲24.9



(2) 業況判断の背景 (自由回答)

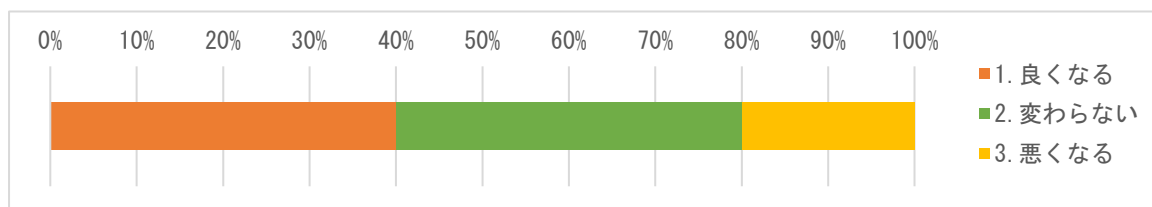
「巣ごもり需要で家庭菜園需要が増えた」、「通販事業ではコロナ禍が追い風となっている」など、新型コロナウイルスの影響がプラスに働いている農業者が見られる。また、「値上げにより利益幅が広がった」との回答もあった。

(3) 業況D I (2021 年見通し)

2021 年通期の業況見通しは、「良くなる」と回答したのは2者、「悪くなる」と回答したのは1者であり、D Iは20.0であった。
 全国のD Iは▲32.4であった。

図表2. 業況D I (2021 年見通し)

農業者数				構成比			市川町	全国
1.良くなる	2.変わらない	3.悪くなる	合計	1.良くなる	2.変わらない	3.悪くなる	DI	DI
2	2	1	5	40.0	40.0	20.0	20.0	▲32.4



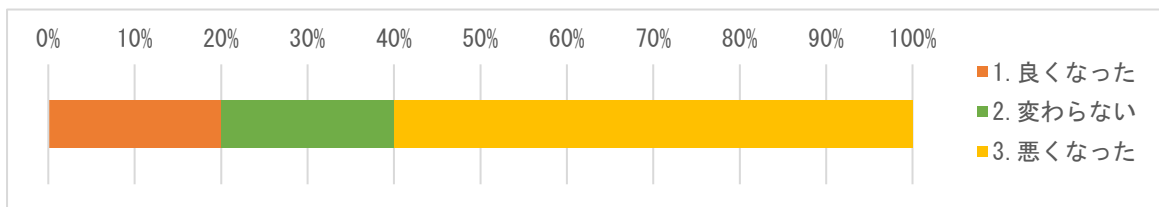
2. 採算の状況

(1) 採算D I

採算が「良くなった」と回答したのは1者、「悪くなった」と回答したのは3者であり、D Iは▲40.0であった。
 全国のD Iは▲27.6であった。

図表3. 採算D I

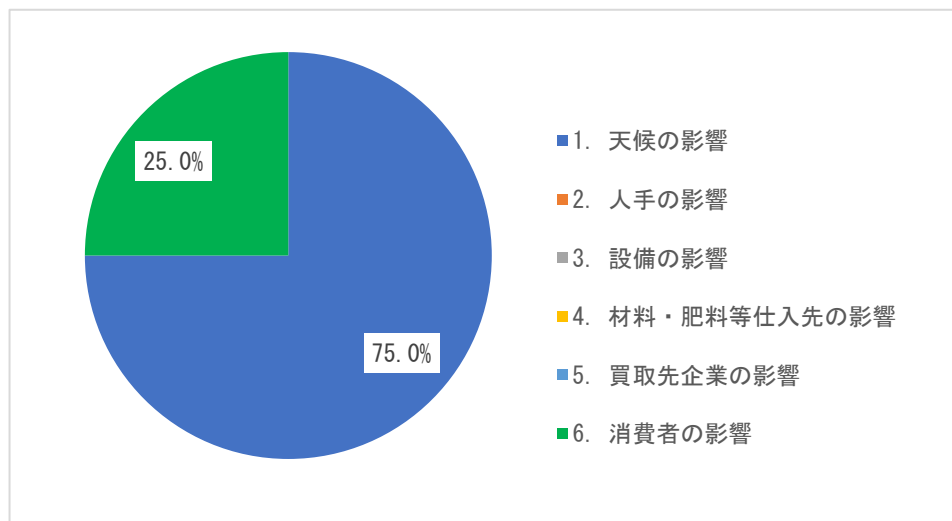
農業者数				構成比			市川町	全国
1.良くなった	2.変わらない	3.悪くなった	合計	1.良くなった	2.変わらない	3.悪くなった	DI	DI
1	1	3	5	20.0	20.0	60.0	▲ 40.0	▲27.6



(2) 収支が好転、または悪化した理由

採算が「悪くなった」と回答した3者はいずれも、「天候の影響」を理由とした。一方、「良くなった」とした1者は、「消費者の影響」が理由であった。

図表4. 採算好転悪化の理由



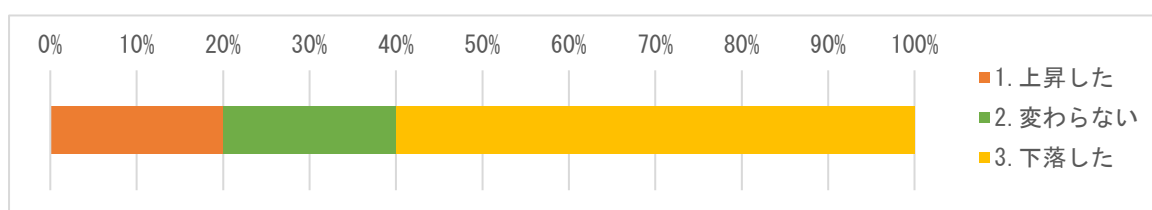
(3) 販売価格D I

販売価格が「上昇した」と回答したのは1者、「下落した」と回答したのは3者であり、D Iは▲40.0であった。

全国のD Iは▲42.2であった。

図表5. 販売価格D I

農業者数				構成比			市川町	全国
1.上昇した	2.変わらない	3.下落した	合計	1.上昇した	2.変わらない	3.下落した	DI	DI
1	1	3	5	20.0	20.0	60.0	▲40.0	▲42.2



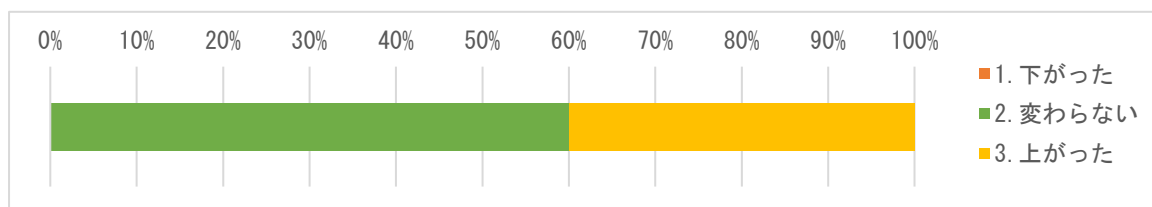
(4) 生産コストD I

生産コストが「下がった」と回答した農業者はおらず、「上がった」と回答したのは2者であり、D Iは▲40.0であった。

全国のD Iは▲36.2であった。

図表6. 生産コストD I

農業者数				構成比			市川町	全国
1.下がった	2.変わらない	3.上がった	合計	1.下がった	2.変わらない	3.上がった	DI	DI
0	3	2	5	0.0	60.0	40.0	▲40.0	▲36.2



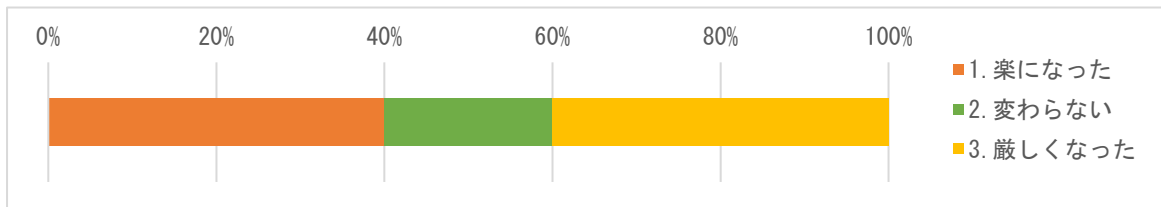
3. 資金繰りの状況

(1) 資金繰りDI

資金繰りが「楽になった」と回答したのは2者、「厳しくなった」と回答したのは2者であり、DIはゼロであった。
 全国のDIは▲16.3であった。

図表7. 資金繰りDI

農業者数				構成比			市川町	全国
1.楽になった	2.変わらない	3.厳しくなった	合計	1.楽になった	2.変わらない	3.厳しくなった	DI	DI
2	1	2	5	40.0	20.0	40.0	0.0	▲16.3



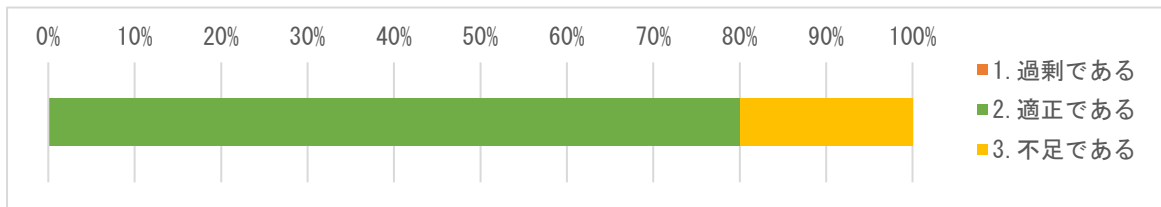
4. 人材の状況

(1) 人材D I

人材が「過剰である」と回答した農業者はおらず、「不足である」と回答したのは1者であり、D Iは▲20.0であった。
 全国のD Iは▲32.0であった。

図表8. 人材D I

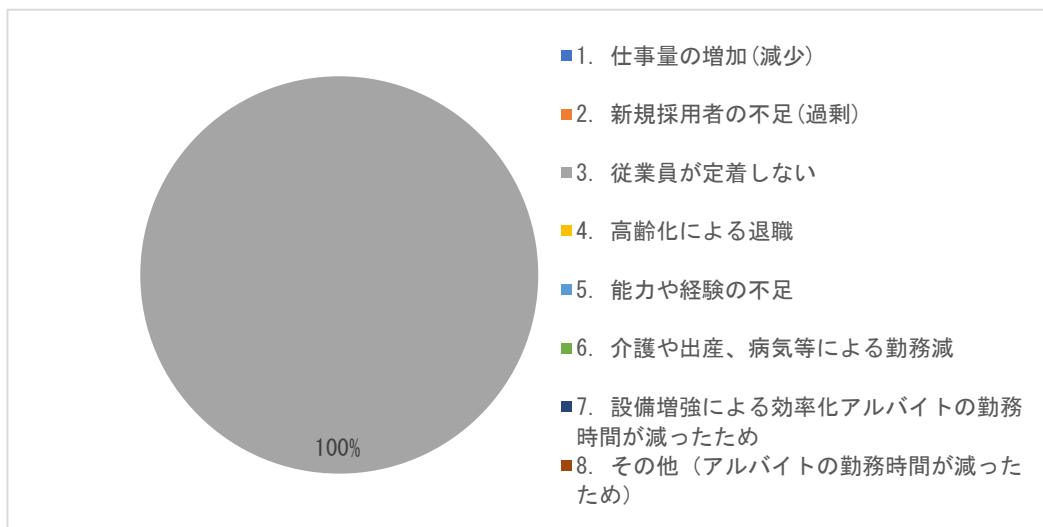
農業者数				構成比			市川町	全国
1.過剰である	2.適正である	3.不足である	合計	1.過剰である	2.適正である	3.不足である	DI	DI
0	4	1	5	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0	▲32.0



(2) 人材が過剰又は不足の理由

人材が「不足である」と回答した1者は、「従業員が定着しない」を理由とした。

図表9. 人材過不足の理由

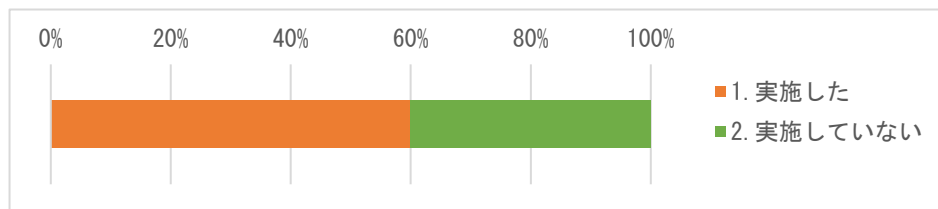


5. 設備投資の実施状況

(1) 2020年の設備投資

2020年に設備投資を「実施した」と回答したのは3者、「実施していない」と回答したのは2者であった。

農業者数			構成比		全国 「実施した」
1.実施した	2.実施していない	合計	1.実施した	2.実施していない	
3	2	5	60.0	40.0	—

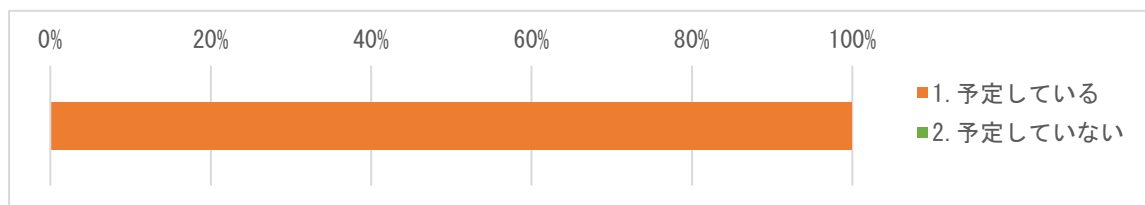


(2) 2021年の設備投資

5者全てが2021年の設備投資を「予定している」と回答した。
全国の調査で「予定している」と回答した者は46.1%であった。

図表10. 2021年の設備投資実施状況

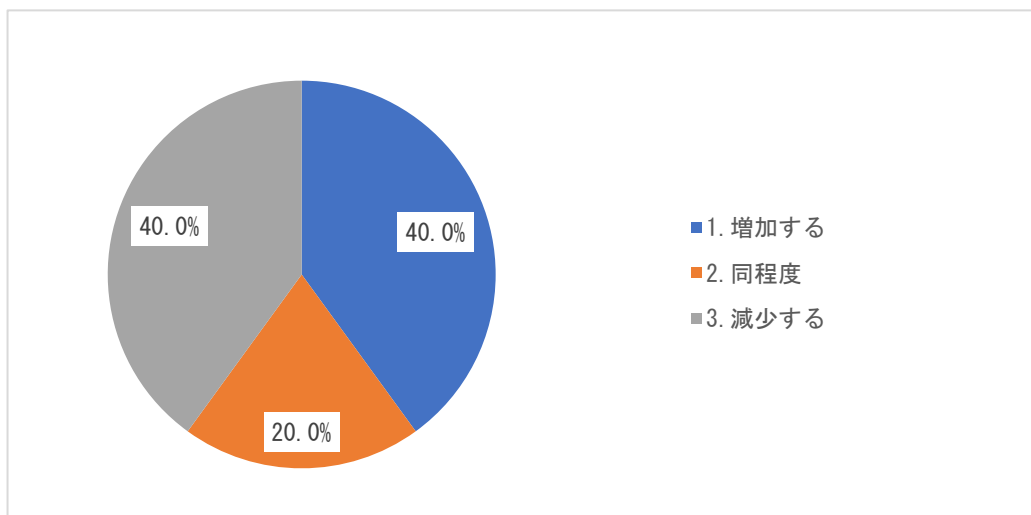
農業者数			構成比		全国 「予定している」
1.予定している	2.予定していない	合計	1.予定している	2.予定していない	
5	0	5	100.0	0.0	46.1



(3) 前年と比べた 2021 年の設備投資額

2021 年に設備投資を予定している 5 者のうち、前年と比べて設備投資額は「増加する」と回答したのは 2 者、「減少する」と回答したのは 2 者、「同程度」と回答したのは 1 者であった。

図表 1 1. 前年と比べた 2021 年の設備投資額



6. 今後の経営方針

今後の経営方針について最も重視するものを、「売上規模の拡大」と回答したのは2者、「加工・販売事業への進出・拡大」、「現状維持」、「販路開拓（販路転換）」と回答したのが各々1者であった。

図表 1 2 . 今後の経営方針

